

| | | | |
|---|---|--|--|
|  | 深川中学校だより 音 信 ～おとずれ～ | 学校 HP QRコード  | 令和6年度 12月号 長門市立深川中学校 校 訓 勸学 教職員スローガン |
| | 学園目標 未来を切り拓く人間性豊かな俵山・深川っ子の育成 | 「生徒の姿で教育の成果をみせる。」 | |
| 地域でめざす子ども像 | ★ふるさと長門を愛し、あいさつでつながる元気な子★自分の思いや考えを伝えられる素直な子 | | |

年の瀬を迎え、寒さが厳しくなりました。今日は美祢や萩の山間部でも雪が降り積もっています。学校では、来週終業式を迎えます。保護者や地域の皆様方のご理解とご支援のおかげをもちまして、2024年が大過なく過ごせましたこと、職員一同感謝申し上げます。

さて、本校に「守破離」という言葉が掲示してあります。生徒指導主任が大切にしている言葉で、職員室から教室へ向かう廊下の突き当りや男子職員トイレの掃除当番表、生徒指導部会のレジュメの中に掲示してあります。この言葉は日本の茶道や武道などの芸道・芸術における師弟関係のあり方の一つであり、それらの修行における過程を「守」「破」「離」の3段階で示したものです。もとは、千利休の訓を和歌の形にした『利休道歌』に収められている一首、「規矩作法 守り尽くして 破るとも 離るとても 本を忘るな」に由来するといわれています。これを簡単に言い換えたものが以下の文です。

「決まりや作法を守り身につけ、改善・改良のために型破りをして、元の型から離れて新たな型を創造したとしても、基本の型を忘れてはいけない」 教えを破り離れたとしても根源の精神を見失ってはならない。つまり、『基本を大切に下さい』ということです。歌舞伎役者の十八代目中村勘三郎の座右の銘「型があるから型破り、型が無ければ形無し」とも知られています。基本の型を師匠が教えないといけない。

私たちは、子どもたちに基本の型を教えられているでしょうか？「AIの導入によって日本の労働人口の49%の仕事が10～20年以内になくなる」というレポートが発表されてから9年が経ちます。「離」の新たな型の創造ができる力を育てているでしょうか。その根底にある基本を大切にする心が培われているでしょうか。

一年を締めくくり、新たな一年を始めるにあたって、原点回帰。「基本の型」をまずは隗より始めよ。ビジネス界で使われている基本の「5S」＝「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰」を実行していこうと思います。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を願うとともに、学校教育目標「未来を切り拓く 人間性豊かな俵山・深川っ子の育成」の達成ため、引き続き本校の教育活動にご理解ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

～特集～ 令和7年 生徒会新体制決定



令和7年 生徒会長 和田 玲音

この度、生徒会長になりました和田玲音です。今、思い返してみれば、あの緊張した中での演説や選挙期間の最後まであきらめなかった強い心、「自分はよくやり切ったな」そう言ってあげたいです。しかし、ここで終わりではありません。これからが本番で、全校生徒を導いていくという大きな責任があります。公約で掲げた「深川中学校を今よりもっと元気で活力ある学校にする」を達成するために精一杯がんばります。

まずは、あいさつです。例えば、地域の人にも校内でも元気なあいさつを心がけてみる。そんな些細な行動でも学校を元気な方向へ動かしていけると思っています。

次に、先輩や後輩との交流を積極的に行います。「他の学年の人とも話してみたい!」「話しやすい環境が欲しい」という声に応えるには、使う場面の少ない空き教室や中庭を有効に活用した「交流バリエーションの改善」を考えています。

私は、生徒の声を大切に多くのアイデアをもって「深川中学校を元気で活力ある学校」にすることをここに誓います。一年間よろしくお願い致します。

令和7年 副会長 西山昊駕

生徒会副会長になりました西山昊駕です。皆さんから頼られる存在になりたいと思っています。

昨年の1年間、生徒会書記を務めました。初めは緊張感がありましたが、段々と慣れてくると気が緩み失敗することが増えてきました。この経験を生かし、今年は「初志貫徹」という言葉を大切にしていきます。新たなこの気持ちを忘れず、責任をもって務めていきます。深川中をより良い学校にし、自分自身も成長できるように全力を出して務めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年 副会長 山村颯太郎

深川中学校副生徒会長になりました山村颯太郎です。私は深川中学校に来て、初めて会った友達や先輩達と話すことがとても楽しいと感じました。このとても素晴らしい関係を今よりもより良いものにするために、私はこれからの生徒会活動の中で、他学年との交流の場を今まで以上に増やしていきたいと思います。この関係を深川中の新たな伝統として、みなさんが明るく楽しく学校生活を過ごせるために、新生徒会メンバーと一丸となって活動していきたいです。

令和7年 書記 増野里奈

生徒会書記の増野里奈です。先日、あることがきっかけで「人のために頑張る義務がある」ということに気づかされました。それは、先生がご不在でも、いつも通り生徒会会議が進行されていたからです。誰かにやらされているとか、自分の都合で欠席するという人もなく、真剣に協議をしていました。みんなを引っ張っていくというのはそういうことなんだと思います。これからの生徒会活動で自分はけん引する立場にあることを忘れずに頑張っていきたいです。1年間よろしくお願いいたします。

令和7年 書記 岡本百珈

生徒会書記になった岡本百珈です。選んでいたからには、公約である「活動の見える生徒会」「みんなが楽しいと思える学校」にできるよう、全力で取り組みたいと思います。

生徒会長や副会長、他の書記の方の公約もあると思うので、それらも実現できるよう協力してがんばりたいと思います。

楽しい学校生活にするために、自分も楽しみながら生徒会活動をしたいと思っています。

これから1年間どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年 生徒会長 宮本 陽菜 ~1年を終えての思い~

2024年生徒会長を終え、「自分のこと」「学校全体のこと」「次期執行部へ」を話したいと思います。

まず、この1年間で自分自身が成長したことについてです。最初は、学校を引っ張っていけるのかプレッシャーでとても不安でした。しかし「私らしく私にしかできない会長になる」という意識に変えてから、自信をつけることができました。度々ある生徒会長あいさつでは、原稿を見ないと不安でしたが、見てしまうと自分の思いは伝わらなと感じ、何も見ないで自分の気持ちを伝えました。それからは、生徒一人ひとりの顔を見て思いを伝えることができました。今までやってきたことを自信に変えることができたのは、みんなのために私に何ができるかという思いにさせてくれた、この役目が私を成長させてくれました。

次に「学校全体のこと」です。生徒会スローガン「結繋、言葉でつなぐ一人ひとりの心」を掲げ、体育祭では、それぞれの分団が心を一つに一致団結し、最高の体育祭を創りあげました。一人ひとりの個性が輝いたとてもよい体育祭となったと思います。また、様々な場面で自分の意見を相手に伝える機会が増え、深川中全体の心が一つにまとまったと感じます。特に、あいさつでは、目上の人や地域の人、身近にいる友達にも笑顔で元気に挨拶する人が増え、とてもあたたかい気持ちになりました。これからも、もっと続いてほしいと思います。

最後に、これからの深川中執行部に向けて、深川中のリーダーとして選ばれたからには、自覚と責任をもって生徒会活動を行って欲しいと思います。また、生徒主体の活動ですが、先生方や家族の支えがあって運営できていることを忘れず、多くの信頼を積み上げ、フォロワーを増やしてほしいと思います。そして、先輩方から受け継いできた思いや信頼を崩すことなく一生懸命取り組み、更なる高見を目指して、深川中学校を良い方向に変えていってほしいです。今まで本当にありがとうございました。